

(一財)日本海洋レジャー安全振興協会主催  
千葉県南房総市富浦小学校 海藻万華鏡教室実施報告

場所	千葉県 南房総市 富浦小学区
開催日	2025年(令和7年)11月11日(火)
対象者	千葉県南房総市富浦小学校学校 3~4年生
講師	海藻おしば協会 高山 優美講師
	海辺の環境教育フォーラム参加(矢作裕子・永島美保)
協力	フォーラム参加者(石川陽子・高野恵美・羅先坪・山崎大地:実行委員)

(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会主催の海洋環境教育出前講座2025年度4校目は、初めての千葉県南房総市での実施となった。

今回は2001年から実施されている海辺の環境教育フォーラムは「学校教育」との連携という事で、南房総市の小学校を会場に、全国から海洋環境教育を実施している団体が集まり実施された。

海藻を使った海洋環境学習に関心を持つ参加者も含め6名体制で富浦小学校(3~4年生)に出張講座を実施した。

### 【講座当日の流れ】

- 8時30分~ 家庭科室 講座実施のため設営準備
- 9時~ 児童代表による開始の挨拶  
高山講師によるレクチャー開始  
千葉県の海藻の種類や海藻についてクイズや映像、海藻標本を使用し説明  
海の森の大切さ、富浦の山・川・海の大切さを中心に話す
- 9時30分~ 海藻万華鏡を作る
- 9時50分~ 振り返り(今日の感想や感じた事、学んだことを発表)
- 10時 終了

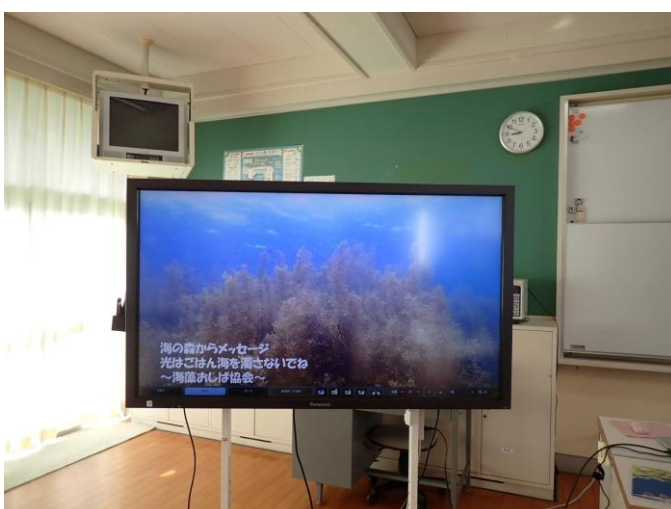
### 【学校との調整・当日の様子】

今回は、学校教育との連携を意識し、学習目標・ねらいでもある「きれいな海を守るために、自分に何ができるのかを考える。富浦の海の良さに気が付く、富浦に親しむ心情(地域愛着の形成)」という点を学校と共有し高山優美講師は、富浦の海で拾えた海藻や千葉県ならではの海藻情報(ヒジキ、ハバノリなど)を講座内容に盛り込み講座を展開、その後房総半島の乾燥海藻を使った海藻万華鏡作りを実施。

6班に分かれた児童に対し、フォーラム参加の有志スタッフが配置できたため、工作部分もスムーズに実施できた。完成品を担当講師に「みて!見て!!」と目を輝かせながら担任の先生にも見せてた。

振り返りの時間では、海を守るために出来る事のアイデアが出せないかも?という思いもあったが「魚を残さず食べる。ゴミ拾いをする。」などそれぞれ海の為に出来ることを考え自分の意見を発言する児童が多かった。

### 【教室の様子】



本日のテーマ「光はご飯海を濁さないでね!」海藻のお話のスタート



富浦の海で拾った乾燥した海藻は地味で形も良く分からない。さてどうなるでしょう?



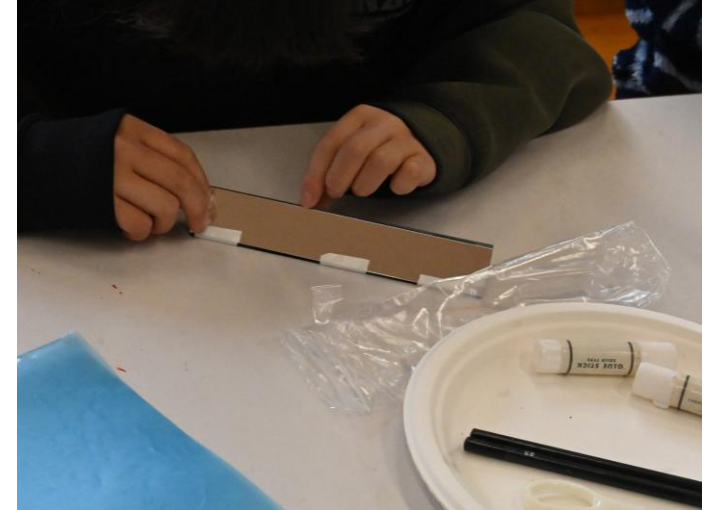
海洋教育教材食物連鎖カードを使用し児童の発言機会を増やしながら解説していく



南房総市富浦の豊かな山の森と海の森のつながりを振り返る



水に浸した黒い塊の乾燥海藻はどうなったかな？姿の変化に驚きの歓声の児童たち



海のお話の後に万華鏡の工作タイム。鏡を組み立てる



フォーラムに参加したボランティアスタッフも各テーブルで工作をサポート



館山・南房総で拾った海藻も素材として準備した。石灰藻も万華鏡には使用



海藻の素材が入った万華鏡をのぞくと想像以上の美しい姿に歓声があがった

### 【振り返りの時間】

※今日の感想や初めて知った事、海を守るために出来る事を自由になんでも発言してもらった

- ・陸の森と海の森のつながりが分かった。どちらの森も大切にしたい
- ・魚を残さないように大事に食べます
- ・海に行ったらゴミを拾う
- ・海藻が日本に1500種類もあると知って驚いた
- ・海を大切にしないと生き物がいなくなる
- ・乾燥した海藻が水についたら黒から色も違った
- ・海藻の役割が分かった
- ・海藻でこんなにキレイな事が出来る事を知った

### 【編集後記】

海藻おしば協会として海辺の環境教育フォーラムで講座を担当するのは、2019年伊豆高原の施設で一般参加者を対象にした海藻おしば教室の実施以来（野田三千代名誉会長担当）であった。

海藻おしば協会として参加したメンバーは、海洋教育の大切さ私たちの活動の大切さを感じる機会となった。

海辺の環境教育フォーラムの中には、山梨県や埼玉県、群馬県など海なし県の参加者がいた。海から遠いからこそ海へのあこがれがある。海に隣接していない地域こそ海洋教育を実施して欲しいなど様々な意見を聞く機会でもあった。

今回講座の実施に関しては、南房総市市長・教育委員会の見学者（学校の先生や他の海洋教育活動を実施している方々含む）があった。その中で「講座内容がとてもよく、児童もとても喜んでいて、南房総市全校で実施して欲しいと思った。」という感想もいただけた。見学に来られていた学校の先生方にもそう感じて頂き嬉しい結果となった。

今回の海辺の環境教育フォーラムの中での海洋教育としての海藻万華鏡教室の実施にあたり、海洋レジャー安全振興協会のご支援に感謝いたします。

【報告：高山 優美】

【11月11日（火） 午前：小学校 午後：中学校 出張授業】

【南房総市立富浦小学校】

時間	学年	プログラム名※調整中	チーフ講師
10:30～11:15	年長・1・2年生	ウミガメレクチャー	鴨川シーワールド
9:00～10:00	3・4年生	海藻おしばクラフト	海藻おしば協会 高山優美さん
9:00～10:00	5年生	富浦の海と〇〇県の海を比べてみよう	ふくおかFUN 大神弘太郎さん
10:30～11:30	6年生	富浦の海と全国(世界)の海を比べてみよう	しかたに自然案内 鹿谷麻夕さん

【南房総市立富山小学校】

時間	学年	プログラム名※調整中	チーフ講師
	1・2年生	海の生き物について知ろう	NPO法人Earth Communication 川口真矢さん
	3年生	クジラについて知ろう	銚子海洋研究所 宮内幸雄さん
	4年生	千葉県に海にまつわる暮らしを知る	川村学園女子大学講師 ほか 新和宏さん
	5年生	森と海のつながり	Lab to Class 八木澤汐音さん
	6年生	富山の未来	CNAC理事 檀野清司さん

【南房総市立千倉小学校】

時間	学年	プログラム名調整中	チーフ講師
	4年生	生きもの博士	足立区生物園/自然教育研究センター 海上智央さん



【海藻万華鏡出張講座チーム】

※海辺の環境教育フォーラムに参加した68名が各授業に数名ずつ別れ出前講座を担当。

時間	内容
12:00頃～	フォーラム参加者昼食※富山学園体育館をお借りする(弁当)
13:30	開会@富山学園体育館
13:40	先生・生徒によるキーノートスピーチ(南房総学での取り組み)
14:10	実践報告・対話タイム①研究発表や学術的な話
14:35	実践報告・対話タイム②地域での取り組み
15:00	まとめ(中学生のまとめの時間)
15:10	感想のシェア
15:30	閉会

【中学生に対しての うみかつミーティング 実践報告者&テーマ】

- ・檀野清（NPO海に学ぶ体験決同協議会）：タイドプールの魚たち
- ・小原朋尚（笹川平和記念財団海洋政策研究所）：海で見つける新しい自分
- ・神田優（NPO黒潮実感センター）：魚の歯～餌を食べるための形と機能～
- ・里見嘉英（鶴岡市加茂水族館）：クラゲの魅力と生体
- ・坂井遥（アフタースクールワオキッズ）：東京海洋大学は海の事しか勉強しない？
- ・奥野淳兒（千葉県中央博物館分館海の博物館）：房総の海の生き物の多様性を調べる伝える
- ・新和宏（川村学園女子大）全房総フィールドを活用した海の学びと探求プログラム
- ・羅先坪（NPOゼリアジャパン）：南房総での藻場再生の実証実験
- ・柏木由香里（かごしま水族館）：雨の日や海に出られない時に役立つ実践
- ・高山優美（海藻おしば協会）：医療者として自然を伝える～医療・命・自然・伝える～
- ・高野恵美（環境アドバイザー）：海なし県から伝える～きれいな海を守ること～
- ・興海佑（アクアマリンふくしま）地域と海をつなぐ
- ・八木澤潮音（海遊び舎・福岡）：「死の海」から海と人との関係を考える
- ・海上智央（自然教育研究センター）：「海のゆりかご」～水槽実験で探るアマモ育成の最適解～
- ・土川仁（コーラルネットワーク）：ボランティア活動としてのサンゴ礁保全活動
- ・柏尾翔（きしわだ自然資料館）：ちりめんモンスターから見る海の生物多様性
- ・井上智子（海遊館）：海遊館と大阪湾のいきものたち

※中学生がそれぞれ聞きたいテーマに分かれ、実践者と対話形式でかたろう